



“たゆみない
技術力の強化と研鑽、
経営の革新および変化と
多様性への適応により、
世界の発展に貢献し、
ともに成長を続ける
企業を目指します。”

COVER STORY

目指す企業像

2012事業計画で進めてきたさまざまな戦略により、3兆円前後にとどまっていた事業規模は4兆円に達し、同時に追い求めていた収益性も大きく改善されました。三菱重工グループは新たな成長軌道に乗るべく、2015年度からは、新中期経営計画「2015事業計画」のもと、世界を舞台にさまざまな戦略に取り組んでまいります。その際には、株主・投資家の皆さまやバリューチェーンに関わる皆さま、当社グループ社員などのステークホルダーに対して、当社が長期的に目指す方向を示し、理解を得ることが欠かせません。「2015事業計画」では、目指す企業像を「たゆみない技術力の強化と研鑽、経営の革新および変化と多様性への適応により、世界の発展に貢献し、ともに成長を続ける」としました。

この目指す企業像では、具体的な目標を2つ設けています。一つは、「差別化可能な事業領域への集中と多様な外力取り込みによる、強い競争力と世界水準の顧客満足度、高い市場シェアの実現」です。付加価値の高い機械設備、プラント、交通・輸送システム等、当社が蓄積してきた技術とエンジニアリングの力を発揮できる事業領域に経営資源を投入するとともに、M&Aやアライアンスを駆使し、技術の先進性と信頼性、ライフサイクル・サービスの品質、ならびにコスト面において継続的に競争力を高めていきます。そうすることで世界中のお客さまにご満足いただき高い市場シェアを獲得し、2015事業計画で目指す5兆円超の事業規模を実現できると信じています。

もう一つは、「企業経営全般に対する高い国際評価の獲得」です。広く社会から信頼され続ける企業となるためには、一定以上の企業規模や財務基盤の確保はもちろん、事業環境の変化へ対応し、多様性に適応した経営体制、コーポレート・ガバナンスの構築、行動規範の実践などが必要となります。社会と密接に関わる課題の解決に事業活動を通じて取り組み、当社グループならではの価値を創出していくことも重要になります。

当社はグループ社是の第一条で「顧客第一の信念に徹し、社業を通じて社会の進歩に貢献する」と掲げ、130年以上の歴史を築いてきました。この精神を忘れることなく、今後も世界の発展に貢献し、ともに成長を続ける企業を目指してまいります。

取締役社長 CEO

宮永 俊一